

海運大手 3 社が業績予想を上方修正—財務構成の大幅な改善が信用力を押し上げ

以下は、海運大手 3 社（日本郵船（証券コード：9101）、商船三井（同：9104）、川崎汽船（同：9107））が 22/3 期通期業績予想の修正を発表したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 22/3 期第 2 四半期決算発表時に海運大手 3 社は通期業績予想を修正した。22/3 期経常利益は日本郵船が 7,100 億円（前期比 3.3 倍）、商船三井が 4,800 億円（同 3.6 倍）、川崎汽船が 3,900 億円（同 4.4 倍）と急伸する見通しである。コンテナ船の運賃市況が想定以上に上昇し、3 社の定期コンテナ船事業を統合したオーシャン ネットワーク エクスプレス社（ONE）の収支が大幅に改善することが主な要因である。また、利益の蓄積によって自己資本が増加し、22/3 期第 2 四半期末の自己資本比率（商船三井と川崎汽船はハイブリッド商品の資本性評価後。商船三井の 22/3 期第 2 四半期末は 21 年 10 月のリプレースを反映。）は日本郵船が 43.1%（21/3 期末 29.4%）、商船三井が 38.2%（同約 30%）、川崎汽船が 42.0%（同 26.2%）となった。
- (2) ここ 10 年は度重なる最終損失の計上によって、各社の自己資本は大きく毀損し、財務構成は悪化傾向にあった。しかし、22/3 期は各社とも過去最高益を更新する見込みであり、自己資本の修復が急速に進むと見られる。今般の大幅な財務構成の改善は、各社の格付判断においてポジティブに評価できると考えている。今後の業績や投資の見通しなどを精査し、格付に反映させていく。

（担当）水川 雅義・坪井 悠祐

【参考】

発行体：日本郵船株式会社

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

発行体：株式会社商船三井

長期発行体格付：A- 見通し：安定的

発行体：川崎汽船株式会社

長期発行体格付：BBB- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル